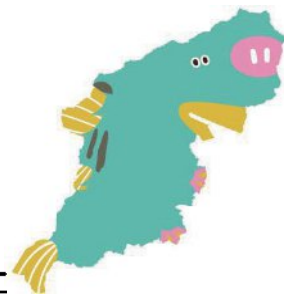


●プログラム

- 12:30~13:00 開場
- 13:00~13:10 第1部 開会挨拶、趣旨説明
- 13:10~13:50 第2部 基調講演I (講師:松沢孝晋)
仮題) 富山理論から「健全な流域圏」を考える
- 13:50~14:30 第3部 基調講演II (講師:神田浩史)
仮題) 「流域思考」をわかりやすくつたえていくために
- 14:30~14:45 休憩
- 14:45~16:25 第4部 ディスカッション
- 16:25~16:30 第5部 閉会挨拶



矢作川流域圏懇談会 HP では、参加組織や、過去の活動や成果、今後の課題などを掲載しております。

神田 浩史 氏 ひろし 所属: NPO法人泉京・垂井(副代表理事)

京都市出身。大学を卒業後、開発コンサルタント企業に勤務し、タンザニア、ナイジェリア、バングラデシュなどで ODA の農業開発事業に従事した。退職後は主に東南アジアの地域づくりの現場を調査研究し、日本政府の国際協力・ODA 政策の策定に関わった後、現在は揖斐川流域の循環型社会の再構築を提唱し、地域づくりに関わっている。



松沢 孝晋 氏 たかのぶ 所属: 日本トンボ学会(総務幹事)・トンボ研究会(編集委員長)
三重昆虫談話会(会員)・四日市市エコパートナー 等

三重県菟野町出身。山口大学を卒業後、1982年にアジア航測株式会社に入社し、自然環境を中心とした環境コンサルタント業務に従事。2019年にフリーとなり、三重県四日市市にトンボ研究所を開設。東海地方や沖縄・東南アジアにおけるトンボ類の調査・研究、市民を対象とした環境講座等を行っている。



矢作川流域圏懇談会とは？

矢作川流域圏懇談会は山部会・川部会・海部会・市民部会で構成され、河川管理者だけでは解決できない課題に対して、流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域全体の発展につなげるための組織です。“流域は一つ、運命共同体”という共通認識のもと、治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理などの課題に対し、民・学・官の連携・協働で取り組んでいます。

「市民部会」からのメッセージ

本公開講座は、「市民部会」が計画しました。そもそも、我々懇談会員ですら「流域って何？」と聞かれたら、胸を張って答えられるでしょうか。本講座は、我々懇談会員自身も改めて流域に関する理解を深めたいと思います。我々と一緒に流域について考えてみましょう！

これまでの公開講座を YouTube でご覧になれます。



矢作川流域のゆるキャラ
はぎぼう

はぎぼうは、カエルの手とアユの口、ヒレをもつイノシシの子(うりぼう)。矢作川流域にすむ陸生、両生、水生の生き物を組み合わせ、流域の自然の豊かさを表しています。背中の模様は「川」の字。ふだんはぼーっとしているけれど、矢作川のこととなると鼻息をフンフンさせながら熱く語る矢作川オタクです。

